

令和 6 年度

「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立豊新小学校

令和 6 年 10 月

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85% 以上にする。 R5 91.2%(経年) R6 91%(校内中間) ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R5 0.94 ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 R5 88.9% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめアンケートを定期的に実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。		B
指標 学期に1度以上、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。		B
指標 月に1回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。		
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ICTの活用等による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。		B
指標 週に1回以上クロームブックや電話、放課後登校等を行い、本人、保護者とのつながる機会を年間を通して設ける。		
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
① 学期に一度以上いじめアンケートを実施することができている。(4月、10月)校内調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目において、最も肯定的な回答が91%と指標を大きく上回っている。今後もいじめアンケートの実施を通して、丁寧な聞き取りを行い、事案の解消につなげていく。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだという指導を継続していき、未然防止に努めていく。		

- ② 月に1回、生活指導部会及び児童理解研修会を実施している。児童の様子を共有するとともに、どのような指導が適切かを話し合うことができている。教職員間の情報共有だけでなく、関係機関との連携も継続していく。
- ③ 別室登校の際、授業の様子を一人一台学習者用端末から通してつなげている。放課後登校や電話連絡、ポスティング、家庭訪問等を週1回以上行い、本人や保護者とつながる機会の増加に努めている。個別支援ルームを設置し、教室に入ることが不安な児童も安心して登校できる環境づくりに努めている。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ・令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上を維持する。 <u>R5 95% R6 96% (校内中間)</u> ・令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和5年度より2%増加させる。 <u>R5 53% R6 57% (校内中間)</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。 指標 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を伝え、指導・支援をする。安全教育の充実を図るために、研修や実践を学期に1回以上実施する。	B
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 体験活動等で得た達成感や充実感をキャリアパスポート等を活用し振り返り、自己有用感の育成を図る。 指標 学期に2回、キャリアパスポート等で目標の設定と振り返りを実施する。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 校内調査「学校のきまりを守っていますか」の項目において、肯定的な回答が96%と目標を上回ることができている。安全教育を充実させるために、大阪教育大付属池田小学校より講師を招き、防犯教育や安全教育についての研修会を2回実施した。さらに、学期に1回以上避難訓練を行っている。児童朝会では、月目標や週目標ならびに、学校長が定めた一週間のめあてを伝え、児童の規範意識の向上に努めている。しかし、全教職員が「豊新まなびのきまり」に基づいた指導に当たれているかという点と不十分な部分もあるので、今後改めて全体周知をし、指導の徹底を図っていく。	
② 1学期の校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において、最も肯定的な回答をした児童は前年度より4%向上しており、目標を達成することができている。スポーツ大会や縦割り班活動、遠足、社会見学などの学校行事を行った。それぞれの活動を通して、児童は自己の学びを振り返り、成長を感じ、達成感や充実感を得て、自己有用感の育成を図ることができた。	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 38 % 以上にする。 <u>R5 35.3% R6 54%(校内中間)</u> ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 <u>R5 国語 1.01 算数 0.93</u> ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88 % 以上にする。 <u>R5 87% R6 94%(校内中間)</u> ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 % 以上にする。 <u>R5 92% R6 97%(校内中間)</u> 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。	B
指標 対話の目標をもとに 1 日 1 回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。	A
指標 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、週に 1 度必ず点検する。	
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 I C T 機器を活用しながら、理科的な見方・考え方に興味を持たせる。学習の見通しをもって観察・実験を行い、児童自身でまとめる活動を取り入れる。	B
指標 単元ごとに、学習者用端末等を使用し、観察や実験結果を記録したものから学習のまとめを実施する。	
取組内容④【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。	B
指標 外国語活動・英語教育の教員研修会を年 3 回実施する。	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 日々の学習の中でペア、グループ活動を取り入れ、児童同士が考えを伝え合い、深め合える対話的な授業となるように実施している。そこで、校内で共通した話型を使用している。昨年度から、学力向上部を中心に活用を進めており定着してきている。校内調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目において、最も肯定的な回答が54%である。この数値を維持できるように、引き続き話し合う活動を実施していく。
- ② 算数科においては、単元ごとに習熟度を測るための調査を実施し、習熟度別学習を行い、個々の学力状況や進捗状況を把握している。(4年、5年、6年) また、学習ドリルの点検を毎日行い、やり直しを丁寧に指導することで、学習内容の定着を目指すことができた。理解が十分ではない児童については、個人指導や反復学習をし、学習の意欲を高められるようにしている。
- ③ 一人一台学習者用端末を使用し、植物の観察記録を写真や動画で撮り、学習に活かしている。指導者端末では、学習の実験の方法や観察の手順などの指導で活用することができている。また、低学年でも校内にいる虫の写真を撮り、虫マップを作る活動を行った。
- ④ 1学期に実施された外国語研修により、学年の実態に即したモジュール学習(英語短時間学習)の進め方が明確になった。読書週間期間に、英語の本を紹介したり、読み聞かせをしたりすることで英語に触れる機会を増やした。そうすることで、外国語活動やモジュール学習に興味関心を持てるようにしている。研修会についても、外国語研修(6月)、イングリッシュデイ(8月)、あと1回2学期以降に実施する計画を立てている。

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。 <u>R5 69% R6 74%(校内中間)</u>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。 <hr/> 指標 学校生活アンケート「外で体を動かすことが好きですか」に対して、最も肯定的な「そう思う」を回答する児童の割合を 50%以上にする。	B
取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。 <hr/> 指標 年 1 回以上の性教育を実施する。9 月と 1 月に「手洗い強調週間」を行う。	B
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 栄養指導や給食指導において、食べることの楽しさやバランスのよい食生活を大切にする気持ちを養う取り組みを行う。 <hr/> 指標 食に関する指導(2 回)や豊新の森を活用した活動(1 回)を年に合計 3 回以上行う。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 校内調査「休み時間に外で体を動かすことが好きですか」の項目において、最も肯定的な回答は 74%と指標を上回ることができている。「運動強調週間」は、現時点では行えていないが、11 月(なわとび)と 2 月(かけ足)に実施予定にしている。指標が維持できるよう各クラスでも、「みんな遊び」等の取り組みを増やし、休み時間に外に出る機会を作るようにしていく。 ② 性教育については、計画的に実施していく予定である。「手洗い強調週間」は 9 月に実施し、チェックカードに記録を記入することで、手洗いの習慣が身についているかを振り返りながら手洗いをする意識を付けることができた。さらに、「清潔調べ」を保健委員会で取り組み、ハンカチ・ティッシュを持ってきていない児童に対し、啓発活動を行うことができている。 ③ 全学年、栄養教諭による食に関する指導を計画通りに実施している。バランスのとれた食事や規則正しい食生活について楽しく学ぶことができ、食への関心を高めることができている。残食が無いようにするために「給食完食週間」を 11 月実施予定にしている。	

豊新の森を活用した活動も順次実施していく。(1年生：栗拾い・虫探し、4年生：季節の生き物、木の観察、5年生：草木染め、入浴剤作り、なかよし：梅・アズキのシロップ作り、梅干し作りを実施した。) まだ実施できていない学年も、今後計画していく。

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ・令和 6 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を 65%以上にする。 <u>R5 64% R6 62%(校内中間)</u>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。 <hr/> 指標 教員が一人 1 回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を 8 回以上行う。	B
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。 <hr/> 指標 話型をもとに言語活動の充実を図り、1 日 1 回以上、話し合う活動を取り入れる。	B
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 年 3 回学力向上 week を実施し、児童の学力向上につなげる。 <hr/> 指標 学期に 1 回の学力向上 week (1 学期に「計算領域」、2 学期に「計算領域」、3 学期に「漢字」) を実施する。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 校内調査「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的な回答は現状 62%と指標を下回っている。一方、肯定的な回答（全体的に「理解できる」と答える児童は 94%に達していることから、多くの児童が授業を理解していると感じていることが伺える。したがって、目標を達成するためによりよい回答が増えるようにしていく必要がある。そのためには、授業内容の工夫（具体例や視覚資料の活用、学習内容の復習や確認）、個別支援とフォローアップ（個別指導やピアラーニング[児童同士の教え合い]）を行いながら、保護者との連携を図っていく。さらに、教員の資質・指導力向上を目指し、研究・研修を重ねていく。(10 月現在 7 回実施済) ② 主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しをもったり、学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できるような場面を取り入れている。また対話的な活動では、児童同士で意見を発表し聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりする場面を取り入れている。昨年度より、学力向上部を中心に話型の統一を図り、児童にも定着してきている。	

- ③ 学期に 1 回の学力向上 WEEK を計画的に実施することができている。週間の最終日にまとめテストを実施し、合格点に達することができれば表彰している。目標を持つことで児童は、大変意欲的に取り組むことができている。1 学期、2 学期「計算領域」、3 学期「漢字」を行う計画に沿って引き続き実施していく。

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) 【ICTの活用に関する目標を設定する】 ・令和6年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。 <u>R5 94% R6 96%(校内中間)</u> 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】 ・ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。 <u>R5 夏季3日 冬季3日 R6 夏季3日 冬季2日</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号5 DX(デジタルトランスフォーメーションの推進)】 ICT(心の天気、デジタルドリルなど)を活用した教育を推進する。 ----- 指標 授業の中で学習者用端末1日1度以上使用する。	B
取組内容②【基本的な方向番号6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 ----- 指標 ゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外においては1日以上設定する。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 授業の中で各学年とも一人一台学習者用端末の活用ができています。その結果、1学期末に実施した校内調査「日々の授業の中で学習者用端末や電子黒板を活用して、学習していますか」の項目において、肯定的に回答する児童は96%であった。さらに、高めていけるよう、算数や調べ学習以外の時間においても活用する時間を増やしていく。 ② ゆとりの日について、週1回継続して設定することができている。学校閉庁日についても、夏季休業期間には3日設定し、その他の期間においても2日設定する予定である。また、会議時間の短縮やセット時刻の掲示などもあり、勤務時間の縮減が図れてきている。今後も引き続き、業務内容の見直しや会議・行事の精選を行い、働き方改革をさらに進めていく必要がある。	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 学校の目標 <ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 83%以上にする。 R5 81% R6 83%(校内中間) 令和 6 年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を 91%以上にする。 R5 93% R6 97%(校内中間) 令和 6 年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和 5 年度より 1 ポイント増加させる。 R5 93% R6 94%(校内中間) 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状 況
取組内容①【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】 学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。	B
指標 週に 1 回、図書館を利用する。また、年に 2 度読書週間を実施する。	
取組内容②【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】 芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。	A
指標 芸術鑑賞行事、3～6 年生で社会見学を確実に 1 回実施する。	
取組内容③【基本的な方向番号 9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。	B
指標 月に 1 回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週 1 回、学年の活動をホームページに掲載する。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 東淀川図書館から学期ごとに 100 冊借り、学級文庫として活用している。1、2 年生は月に 1 回、また休み時間の読み聞かせを地域ボランティア「がらがらどん」さんをお願いしている。また、1 学期末に実施した校内調査「読書が好きですか」の項目において、肯定的に回答する児童が 83%と指標に達することができている。2 学期には図書委員会を中心に読書週間を実施したことから、児童が本に触れる機会が増え、意欲的に本を読むようになってきている。	
② 年間行事計画に基づき、社会見学や町探検など多様な体験活動を行っている。今年度は、社会見学先として校区内の工場を取り上げた。その結果、興味を持って学習へと向かうことができている。また、児童がよく利用する阪急電鉄とも連携を図り、見学に行く予	

定にしている。さらに、児童が自主的に朝の清掃活動、あいさつ活動に取り組んでいる。芸術鑑賞会は10月に実施予定である。

- ③ 月に1度、学年だよりや学校だより、なかよしだより、通級だよりを配付している。また週に1回以上、学年の様子をホームページに掲載し、保護者が学校の様子をわかるようにしている。今後も継続して掲載していくとともに、さらなる発信方法を検討していく。